

2026年KGA主催 決勝競技詳報



特集記事

第10回定時社員総会開催

次なる100年へ、新たな礎を築く

Bloom Pink Tee Club

「楽しい」が体験できるBloom Pink Tee Clubを開催

第1回 KGA初心者ジュニア・ゴルフスクール開催

緑の中で球を打つ喜びを子供たちに伝えたい



**ゴルフの未来を、共に創る
加盟倶楽部と拓く、その先の100年**





特集1
社員総会

第10回定時社員総会開催 次なる100年へ、新たな礎を築く



吉田裕明理事長



菅千太郎副理事長

「KGAゴルフ振興基金」
設立を承認。
次の100年を見据え、
ゴルフの未来を、共に創る。

この日は社員総数493倶楽部のうち出席社員数403倶楽部（うち委任状351倶楽部）。冒頭に吉田裕明理事長が昨年の就任から1年間の活動への支援と協力への感謝を述べた後、公益財団法人日本ゴルフ協会（JGA）が年会費改定に至った経緯と今後の事務手続きについて説明。議案の審議に入り、報告、質疑応答などを経て、3議案とも承認されました。

関東ゴルフ連盟（KGA）が一般社団法人となつてから10回目となる定時社員総会が3月12日、ホテルグランドアーク半蔵門で開かれました。議題は、①第9期（2025年度）事業報告と決算②第10期（2026年度）事業計画と予算③KGAゴルフ振興基金設立の3議案。総会終了後には、コロナ禍の後には行われていなかったピュッフェ形式の懇親会も開かれました。



KGAは2035年の創立100周年とさらにその先に向け、競技とともに「ゴルフ振興」にも注力。表紙は、本文で紹介の競技と振興イベントで撮られた象徴的な画像で構成しました。

2026年7月31日発行
一般社団法人 関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

- 1/ **特集1 社員総会**
第10回定時社員総会開催
次なる100年へ、新たな礎を築く
- 4/ **2026年KGA主催決勝競技詳報**
関東女子ゴルフ選手権
関東アマチュアゴルフ選手権
関東グランドシニアゴルフ選手権
関東女子グランドシニアゴルフ選手権
関東小学生ゴルフ大会
- 14/ **特集2 Bloom Pink Tee Club**
「楽しい」が体験できる
Bloom Pink Tee Clubを開催
- 18/ **特集3 第1回KGA初心者ジュニア・ゴルフスクール開催**
緑の中で球を打つ喜びを子供たちに伝えたい
- 20/ **新規加盟倶楽部**
オリムピック・スタッフ足利ゴルフコース
斑尾高原カントリー倶楽部
那須陽光ゴルフクラブ
長野デューズゴルフクラブ
太平洋クラブ美野里コース／太平洋クラブ江南コース
- 25/ **連載・ルールQ&A**
- 26/ **関東倶楽部対抗／関東女子倶楽部対抗 競技速報**
- 28/ **COLUMN**
千年桜とエージシュートの鉄人
- 29/ **INFORMATION**
編集後記

編集／一般社団法人関東ゴルフ連盟広報委員会
統括／近藤勇樹（KGA広報委員長）
大竹 茂（KGA広報副委員長）
岡田美智子（KGA広報委員）
久保田昌幸（KGA広報委員）
菅又康倫（KGA広報委員）
鈴木一也（KGA広報委員）
高岡和弘（KGA広報委員）
高野佳子（KGA広報委員）
戸田光法（KGA広報委員）
富澤 仁（KGA広報委員）
本條 強（KGA広報委員）
池田正一（KGA広報委員）
北川外志廣（KGA広報委員）
鈴木温理（KGA広報委員）
古谷隆昭（KGA広報委員）

裏表紙／上総モナークカントリークラブ
鹿沼72カントリークラブ

第1号議案、第2号議案はいずれも満場異議なしで承認。第3号議案の「ゴルフ振興基金の設立」について本格的な審議に入りました。

最初に吉田理事長が「昨年創立90周年を迎えたKGAにとって次の100周年に向けた課題は財政の安定とゴルフ振興です。就任以来1都10県を回り、加盟倶楽部の皆様から意見をいただけてきました。本日、提案するのは、これらの声を反映させ、準備委員会や理事会で議論を尽くして収斂した内容となっています。2027年1月の基金設立に向けて具体的な準備に入っていきたいと考えています」と提案の趣旨とこれまでの経過を説明しました。

続いて事務局から、「ゴルフの未来を、共に創る。——ゴルフ界の構造的課題を解決し、次なる100年を築くための戦略的計画——」と題したA4版25ページの資料を基に詳細な計画内容が報告されました。

第3号議案の内容は次の通りです。

「KGAゴルフ振興基金設立に ついて」 1、設立の趣旨

●2026年8月～9月
基金募集を通知

●2026年11月～12月
事業計画・予算の策定

●2026年12月10日
第2回理事会で事業計画・予算を承認

●2027年1月1日
KGAゴルフ振興基金発足・運用開始

●2027年2月17日
第3回理事会にて、拠出状況及び初期の活動報告

この議案に対して、主な質疑応答の内容は次の通りです。

質問…「内部留保を活用して成果を示してから協力を求めているのか。JGAや各都県とKGAとの役割分担を明確にして二重三重の負担を避けるべきでは。少子化が進む中でゴルフ界は野球やサッカーなどに比べて対応が遅れている。ゴルフ振興は必要だが、ビジョンを明確にすべき」

回答（吉田理事長）…「過去3年間、JGAを旗振り役、KGAを「実行部隊」と位置づけて一般会計を財源としたゴルフ振興事業を実施してきました。その結果一定の成果が確認されたことを受け、KGAゴルフ振興

我が国のゴルフ界は、ゴルフ人口及びゴルフ場数の減少という構造的な課題に直面しております。これに伴い、将来的にKGAの基盤を支える収益構造の弱体化は避けられず、財政が健全な今こそ、ゴルフの未来を支える持続可能な仕組みを構築することが急務であります。本基金は加盟倶楽部が一致団結してこの課題に向かい、「ゴルフの未来を、共に創る」ことを目的といたします。従来の一般会計による予算の枠組みを超え、地域に根差した自律的な振興事業を継続・拡大すべく独自の安定財源を確保してまいります。

KGA創立100周年（2035年）を見据え、振興事業

活発な審議を経て、3議案を承認

の成果が再投資される好循環を創出することで、本基金をゴルフの未来を支える恒久的なインフラとして確立し、次なる100年を共に切り拓く礎とするものです。

2、基金の骨子

- (1) 名称／KGAゴルフ振興基金
- (2) 拠出形態／加盟倶楽部の任意による寄附（一般寄附金）
- (3) 拠出単位／1口20000円（年額）とし、複数口の寄附も可能とする
- (4) 会計区分／一般会計とは区分して管理・運用する
- (5) 設立時期／2027年1月

3、基金発足に向けたロードマップ（2026年3月～2027年2月）



総会後は懇親会で和やかに懇談

基金を提案することになりました。昨年発足したジュニア普及委員会ではゴルフ未経験の子供たちにも広く門戸を広げ、将来のゴルフ界を支える裾野の拡大に主眼を置いた活動を展開していきます。この基金はこうした活動にも活用されます。

質問…「基金ではなく年会費の値上げで対応する手段はなかったのか。また、1口2万円の設定に対して複数口の拠出を認める仕組みは、制度として合理性に欠けるのではないか」

回答（吉田理事長）…「すべての倶楽部に一律の負担を強いる年会費値上げではなく、経営状況に応じた柔軟な協力が可能な任

意寄附の形を優先しました。複数口の受付については、特定倶楽部への過度な依存を防ぐためのバランスを考慮しつつ、今後、常務理事会などで運用の詳細を継続して協議してまいります。

これらの審議を経て承認を求め、拍手をもって、吉田理事長が「賛成多数で承認いただきました」と宣言しました。

社員総会終了後食事会場に移り、橋本泰子副理事長の発声で乾杯。ビュッフェ形式で懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中で懇談しました。



●2026年3月12日
第10回定時社員総会にて基金の設立を承認

●2026年7月17日
第1回理事会にて定款及び各種規定の制定・改定案を承認



才能を覚醒させた 鈴木みなみが圧勝!



↑仲間たちからの祝福のシャワーを浴びる鈴木選手
←KGA吉田裕明理事長から優勝プレートの授与



1番ホールでバーパットを外し、表情がこわばる



転機となった12番ホールのバーディー



終盤には時折リラックスした表情を見せた

鈴木みなみ選手(都)の圧勝だった。2位に6打差の優勝。ウイニングパットを決めた後、周りから祝福され笑顔でガッツポーズ。確かな技術に裏打ちされた精神力の強さが光った。

関東のナンバーワンを決める4日間競技。75,71,71で3日間を終えて2位に5打差。埼玉栄高校、これまで大きな競技で好成績を挙げていない鈴木選手がいきなり首位に躍り出た。名匠井上誠一が創り挙げた関東屈指の難コース、龍ヶ崎カントリー倶楽部を2日間続けてのアンダー。実力は本物である。

最終日、スタート前から普段と変わらない落ち着いた様子。笑顔もある。しかし実際には人生初の最終組、初優勝がかかっているだけに緊張していた。体が硬く腕の動きもスムーズさに欠ける。前半を39として2位

との差は3打に縮まった。このままずるずる行けば逆転される可能性も大いにあった。ところが12番パー3でバーディーを奪う。内藤正幸競技委員長の「次も獲るよ」の予言通り13番でもバーディー、落ち着きを取り戻した。

「緊張を解さなきゃと、キャディーさんや同組の選手たちと敢えて話すようにしました。何気ないことで笑ったり。リラックスできました」

とはいえ、この選手権でいきなり覚醒したのはどんなことがあったのか。

「身長の伸びが止まって、父からウェイトトレーニングをしろと言われ、このオフに下半身を強化しました。そしたら20ヤードも飛距離が伸びて他の人に負けなくなりました」



↑5位入賞選手。左から近重怜奈(2位タイ、①も)、飯田柚月(同、②も)、鈴木みなみ(優勝)、戸高玲奈(2位タイ、③も)、清水心結(5位、④も)



後輩選手のために奮闘したお姉様

プレー終了後、中谷玲選手(カレドニアン)は、笑顔だった。関東女子ミッドアマチュア選手権を3度制し、日本女子ミッドアマチュア選手権も昨年、初優勝を果たした実力者。23位という順位は不満だろうが、「いいえ、目標の33位以内を達成できましたから」。

この言葉の意味は、こうだ。関東女子選手権に与えられている日本女子アマチュア選手権への出場枠は33。ただし、中谷選手は日本女子ミッド優勝によるシード権を持っており、今回、自分が33位以内に入れば、34番目の選手も出場可能になると考えたのだ。「関東の後輩たちのために、チャンスを増やしてあげたい」との思いで立てた目標だった。

実は、これは勘違い。シード選手を除く上位33人が出場できるため、中谷選手が何位でも関東の出場数は変わらない。でも、何と優しい気持ちの持ち主なのだろう。中学生から大学生が主体の大会にあって、中谷選手は、第3ラウンド以降では最年長の28歳。技術も心も素晴らしいゴルファーである。



龍ヶ崎のアーメンコーナーが始まる10番パー4。高い精度のティーショットが求められる

確かに最終組の強豪女子に対して飛距離は互角。240ヤードは飛ばし、谷などのある龍ヶ崎を制するには絶対条件だった。しかもショートゲームも冴えていた。

「プロキャディーさんにラウンドを見ていただくことがあって、100ヤード以内をカップから5メートル以内に付けられるようにならなければいけないと。猛練習した成果が出たと思います」

最終日、4つのパー5のうち3つをバーディーにした。17番では80ヤードを1メートルに寄せた。

「あのバーディーで優勝できるかなと。昨年までパー5が苦手でした。でも今はパー5が大好き」

もう一つ、ボギーを打たないことも目標とした。16番でも周囲が3パットボギーだったのに、外し頃の2.5メー

トルをしっかりと沈めてバーにした。

ドライバーは埼玉栄の先輩、岩井ツインズと同じものを使用する。

「岩井さん姉妹のような選手になりたい。いつも笑顔で明るくて強くて、憧れなんです」

みなみさん、あなたの笑顔も明るくって最高。十分に楽しめますよ!

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	4R	Total
1	鈴木 みなみ 都		75	71	71	73	290
2	戸高 玲奈	関東女子	77	72	75	72	296
	近重 怜奈	TEAM KGA ジュニア	79	73	72	72	296
	飯田 柚月	TEAM KGA ジュニア	75	73	75	73	296
5	清水 心結	TEAM KGA ジュニア	78	73	73	74	298



16歳が最終9H、 波に乗り難コースを攻略して 4年ぶりの高校生王者に



最終日12番から優勝に向け自信を持ってプレーしたという神永選手

KGA吉田裕明理事長から優勝盾を受ける

15番ホールでアプローチ、直接カップインする神永選手

関東のアマチュアゴルファー No. 1を決める戦いは、地区予選に 1061 名がエントリーし、5月 26 ～ 29 日の決勝競技では、中学 2 年生の 14 歳から 60 代後半まで、143 名の選手が熱戦を繰り広げた。そして、2026 年のチャンピオンに輝いたのは、高校 2 年生の神永直輝選手（TEAM KGA ジュニア）だった。高校生が優勝したのは 4 年ぶりの快挙である。

会場となった千葉県の鷹之台カンツリー倶楽部は、過去に複数回の日本オープンを開催したフラットながら丘陵・林間の戦略性の高いコースで、ショットの正確性が必須となる。また、グリーンはほとんどが砲台で、グリーンキーパーの千田弘喜氏によると、「ファームネスメーター 6mm を基準に硬めに仕上げた」ということで、4 日間とも晴天だったこともあり、コンパクションが上がり、転がりがより一層スムーズになって、特に最終日はパッティ

ングに苦労する選手の姿が多く見られた。

また、内藤正幸競技委員長は、「ホールロケーションを 3 日目にほとんどグリーン中央に切ったところ、平均 73.18 打と、決勝競技の 1 日目や 2 日目よりも 3～4 打よくなった。しかし、最終日は厳しいところに切った」と話していたが、予想通り平均ストロークは 75.8 と 3 日目より 2.5 打多くなった。

さて、試合展開だが、7103 ヤードでパー 71 としっかり距離のある設定もあってか、上位は多くの大学生のなかに高校生が混じるといった若い力のぶつかり合いの状況。スコアは 3 日目を終えてトップには 6 アンダーで 3 人が並び、続いて 4 アンダー 2 人、2 アンダー 1 人、1 アンダー 2 人の 8 人が最終 2 組となった。この 8 人のなかに過去 3 年の優勝者が入っており、混戦が予想された。

しかし、前半の 9H はトップ 3 人がいずれもイーブンで



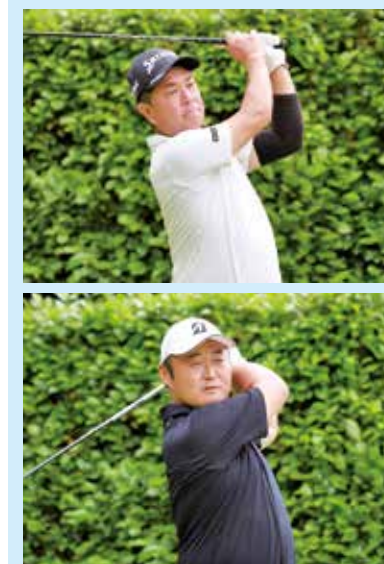
上位 5 名の入賞選手。左から 3 位タイの岩井光太、準優勝の清水蔵之介、優勝の神永直輝、3 位タイの隅内雅人、3 位タイの泊隆太

中学生 4 選手が第 3 ラウンドに進出



第 3 ラウンドには 4 人の中学生選手が進出した。成績順に、①小澤優仁（22 位タイ）、②池田烈琉（27 位タイ）、③稲葉輝海（45 位タイ）、④加藤遼大（53 位）

特別表彰選手



関東アマチュアゴルフ選手権 決勝競技 20 回出場の柳澤信吾（上）と同 10 回出場で歴代優勝者の秋元一男。両選手はともに 36 ホールカットを通過した

回り、首位をキープして後半の 9H 勝負となった。ただ、最終日は気温が 30℃ まで上がったこともあって風が強くなり、ホールが進むに従ってボギーを叩く選手も多くなっていった。そうした状況で、11 番パー 4（平均ストローク 4.54）でボギーとしたものの、12、13、15 番と 3 つのバーディーを奪った神永選手が 2 位に 4 打差をつけて 18 番を迎え、逃げ切った。特に、15 番（233 ヤード・パー 3）では、グリーン手前のラフから 15 ヤードほどの距離を直接カップインし、追いつがる同組の選手たちに「アレを入れられては」と思わせるプレーぶりだった。神永選手は、「今年 2 月に腰をケガして 1 カ月何もできませんでした。でもその後は、安定した球が打てるようにスイングを作り直すつもりでいろいろなところを少しずつ直していきました。パターも立ち方やボールの位置など細かいところを 1 から見直しました。今回は 58 度のア

プローチの距離感やイメージがよかったことが一番です。12H で 65 ヤードをイメージ通り打ってバーディーが取れたのでいけるかなと思いました。15 番のチップインは打って 3 メートルくらいで入る感じがしました」

と、振り返る。結果的に後半 9H を 3 アンダーで回った昨年優勝の清水蔵之介選手（関東アマ）が 4 アンダーで 2 位に入り、3 年前優勝の岩井光太選手（那須小川）が 3 位タイに入った。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	4R	Total
1	神永 直輝	TEAM KGA ジュニア	68	69	70	70	277
2	清水 蔵之介	関東アマ	70	75	66	69	280
3	隅内 雅人	日本大	67	71	71	72	281
	岩井 光太	那須小川	69	72	68	72	281
	泊 隆太	サンコー	71	69	67	74	281



躍動する エージシューターの競演 制するは田村敏明



新潟県在住の田村敏明選手は見る機会の少ない富士山を仰ぎ見ながら楽しくプレーできたと語った



18番ホールで見事なアプローチでバーディー、優勝に華を添えた田村選手(写真左)。KGA橋本泰子副理事長(写真右)から通算3度目となる優勝杯の授与

晴天に恵まれた5月18日と19日の2日間、富士山の西麓、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにて2026年関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技が開催された。

シード選手に加え、70歳以上の533名が出場した各予選会を勝ち上がった総勢121名がここに熱戦を繰り広げた。

最終日、田村敏明選手(ヨネックス)が見事なラウンドを展開、他を寄せ付けぬ5打差圧勝で同競技3回目の関東チャンピオンに輝いた。

田村選手はスタート直前まで10歩程の距離のアプローチショットを3つのボールを並べて、ラインを変えて入念に繰り返す姿が印象的だった。本ラウンドでも幾つかのグリーンへのアプローチショットがラウンド前のこの

練習に同じパターンで10歩程の登りのライからOKバーディー、タッピンパーとしてスコアを纏めていた。

最終ホール18番も、グリーン右サイドにショットを外すもそれもカップへ対して上りの10歩。カップがマウンドの頂上の難しい位置で他の選手がグリーン奥からパーを取れず苦戦する中、そこをまたしても同じアプローチショットでジャストインの素晴らしいバーディーフィニッシュ(写真左上)。同伴プレーヤー、ギャラリーから感嘆の声が漏れ聞こえるほどの圧巻のプレー、2日間トータル4アンダーパー140ストロークの見事な優勝スコアであった。

例年の本競技は多くのエージシュートを達成する選手が毎年のように増えてきていて、その対象者への表彰準備が足りなくなる嬉しい悲鳴。内藤正幸競技委員長自身の体験からも公式試合、競技でのエージシュートへの挑



左から馬場康次、富田久三(ともに4位タイ)、西川幸一郎(2位)、田村敏明(優勝)、木村利治(3位)、瀬戸信昭、亀井隆(ともに4位タイ)の各選手



上位入賞のグランドシニアルーキー、西川幸一郎(2位、左)と木村利治(3位)の両選手



本決勝競技出場の最年長選手、竹村昭雄(今年84歳)は第1ラウンドに74打の驚異的エージシュートを達成。第2ラウンドも82打で回って28位タイ。「80歳以上の部」1位のタイトルと日本グランドシニアゴルフ選手権の出場権を獲得した

特別表彰選手



関東シニア、同ミッドシニア、同グランドシニアゴルフ選手権で通算20回出場を果たした石井幹選手(80歳)



(写真上) 同15回出場の左から阿部逸朗、志村幹夫、田代猛の各選手(写真左) 同10回出場の山本五郎(左)と大野政治両選手、ほかに荒井真一選手、相馬聡夫選手も10回出場を達成



14選手がエージシュート達成!

本決勝競技では左記最年長選手の竹村昭雄選手、若手では71歳の相馬聡夫選手(第2ラウンドで70打)など14選手が計19ラウンドでエージシュートを記録した。

戦、達成が本当に難しい話を話し、今回のエージシューターたちへの賞賛を惜しなかった。

関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技では、80歳を迎え超えるプレーヤーの中からの最上位者も表彰しているが、竹村昭雄選手(嵐山)がその荣誉に輝いた。そのプレーは初日74。84歳となる今年、2日間とも見事にエージシュート達成で自ら上位32名の枠に入り、11月の伊勢カントリークラブ開催の日本グランドシニアゴルフ選手権競技への出場権を獲得した。

この80歳以上のプレーヤーへの表彰は、多くの対象者のモチベーションになっているらしく山田良選手(秦野)は、予選会を見事79のスコアで通過しての決勝競技出場。「来年は俺も80歳の誕生日、是非活躍して最上位

タイトルを目指すよ」と目を細めていた。

本予選競技はハンディキャップ17.9までの方が出場可能、来年はより多くのプレーヤーの参加で各会場での盛り上がりが期待される。皆様の挑戦をお待ちしています。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	田村 敏明	ヨネックス	70	70	140
2	西川 幸一郎	府中	74	71	145
3	木村 利治	水戸グリーン	74	73	147
4	富田 久三	静ヒルズ	74	75	149
	馬場 康次	武蔵野	73	76	149
	瀬戸 信昭	鷹之台	73	76	149
	亀井 隆	唐沢	72	77	149

アンチエイジングな
選手たち

内藤正幸競技委員長より優勝杯を授与される南雲真理選手。写真左はスタートの1番ホールのティーションット。南雲選手は唯一アンダーパーのラウンドで選手権を制した



ホールアウトして笑顔で健闘を讃えあう増田京子選手(左)と原田町子選手



増田京子選手



原田町子選手



いつまでも明るく元気に、カッコよく!



▶▶▶上位入賞選手◀◀◀



2位タイ入賞の本郷すみ江選手



同 林美由樹選手

▶▶▶特別表彰選手◀◀◀



関東女子シニア、関東女子グランドシニア決勝競技通算10回出場選手。(写真上)左から田口貴美子、兎澤由美子、上村ひろみ。(同左)高橋依巳。(同右)今井信子

60歳以上(今年、60歳になる人も含む)の選手による熱き戦い。長年、競技ゴルフで鍛えてきたそれぞれの技と戦略の年輪を、今年も十分に感じさせてくれる競技だった。

その象徴が、参加選手中最高齢となる77歳の増田京子選手(筑波)だ。動きが実に素早い。ティーショットを打ち終わると、パツとティーを拾う。途中のショットも、球までスタスタ歩き、サツと打つ。今年、喜寿を迎えた女性とは、とても思えない身のこなしだ。

所属コースの筑波カントリークラブには、5年ほど前から乗用カートが導入されたが、平均週2回のラウンドでは、今も歩き通すことにしている。ただ、この競技では「体力温存を考えて、カートに乗っちゃいました」と、いたずらっぽく笑った。ほかに若さを維持する方法を尋ねたら、「もりもり食べることかな。食べることが大好きなの」。もちろん、ご飯はお代わりするそうだ。

年齢を重ねるごとに飛距離が落ちてはきたが、「それに逆らいたいとドライバーの練習ばかりしていたら、かえって悪くなった。今は、フェアウェイウッドや小技の練習に力を入れている」そうだ。その成果か、バーディーは1個だったが、83にまとめ、9人が出場した70歳以上の選手の部で、1位のタイトルを獲得してみせた。

増田選手に次ぐ75歳で参加した原田町子選手(習志野)も、グランドシニアではほぼ確実に予選を突破してくる「猛者」だ。こちらは20年ほどジムに通い、可動域を広げるトレーニングを積み重ねている。食事でも「たんぱく質を1日50グラムは取り、野菜も多く食べるようにしている」と気を配っている。「あと、お酒も少々ね」。今回、86ストロークをたたいたラウンドは不満だっただろうが、「増田さんはじめ、こうやって昔からの競技仲間と会えるのが、何より楽しい」と、終始、笑顔だった。

そして、優勝した南雲真理選手(大利根)。ただ一人、ア

ンダーパーとなる69のスコアで回り、2位に5打差をつける圧勝だった。

会場の東松苑ゴルフ倶楽部は、花道もグリーンも硬くて球が大きく弾むため、グリーンを狙うショットやアプローチに多くの選手が苦戦をした。その中で、南雲選手は、弾道が低くてスピンの効いたショットを使って克服。5バーディー、2ボギーでまとめる圧巻のゴルフを見た。

この技術は、昨年の日本女子グランドシニア選手権で、あと一歩で優勝の逃した悔しさ、反省から取り組んできたものだという。この日の試合前も、アプローチ練習場で最後の確認をしてから、ラウンドに臨んでいた。さらに、バターをロートルクのものにし、打ち方も少し変えて、26パットにまとめた。

仕事に就いているため、月に5、6回しかラウンドできないが、ヨガやスクワットで体を整え、食事でも添加物を避けるなど気を遣っている。2000年の日本女子ミッドア

マチュアゴルフ選手権チャンピオン。技術や道具の研究を積み重ね、四半世紀ぶりの「日本タイトル」獲得に向けて進歩を続けている。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	Total
1	南雲 真理	大利根	69
2	林 美由樹	鹿沼	74
	本郷 すみ江	藤岡	74
4	金子 弥生	太平洋・御殿場	75
5	千島 綾子	彩の森	76
	内田 こずえ	越生	76
	矢口 さつき	岡部チサン	76
	加藤 仁美	塩原	76
	横山 亜弥子	浦和	76

※第2日目は、台風6号接近による悪天候が予想され、選手及び関係者の安全を確保することが難しいことから中止となった。なお、本競技は第1日目の成績により成立とし、日本女子グランドシニアゴルフ選手権への出場資格は、「マッチングスコアカード方式」により決定した。



初の春季開催を支えたすべての関係者に感謝



男子入賞選手。左から戸澤涼(優勝)、横山勇人(優勝)、小林令侑(3位)



女子入賞選手。左から高野遥(2位タイ)、竹内美由(優勝)、津止柑那(2位タイ)



優勝を分け合った戸澤涼(左)と横山勇人の両選手



「女子の部」を制した竹内美由選手

日本ゴルフ協会が酷暑の時期を避けようと、全国小学生ゴルフ大会の開催時期を、昨年までの9月中旬から5月のゴールデンウィーク中に移動。そのため、「全国」の予選を兼ねた関東小学生大会も、これまでの7月末から移動し、今年は春休み中に開催された。開催コースも、初めて千葉県君津市・上総モナークカントリークラブが舞台となり、少々、様変わりした大会となった。

上総モナークは、「帝王」ジャック・ニクラウスが設計。フェアウェイ、グリーンともうねっている典型的なアメリカンスタイルのコースだ。さらに試合当日、雨と強い風が吹きつけ選手を苦しめた。

この中で、男子は73で回った横山勇人選手(富士見市立勝瀬小)と戸澤涼選手(栃木市立合戦場小)が優勝を分け合い、女子は竹内美由選手(柏市立第七小)が

76でタイトルをつかんだ。

横山選手は、風雨が強くなった後半のインをすべてパープレーでしのぐ、我慢のゴルフを展開。「100ヤード以内の練習を積んできた。それが生きた」と喜んだ。この1年でドライバーの飛距離は15ヤード伸びて200ヤードを超すように。だが、本人は、ゴルフの面白さについて、「難しい状況からパーを拾うこと」と、少し大人びた感想を挙げた。その言葉通りの優勝だった。

戸澤選手は、栃木ブロック予選で2位に15打差をつけてトップ通過。この日も、3バーディーを奪った「破壊力」が魅力だ。今、取り組んでいるのは「狙った所に行くように、ラインを出す練習」と話す。さらに、自宅の庭で毎日、100球のアプローチ練習をするのを欠かさず、小技にも磨きをかけている。

女子は、飛距離が足りない分、男子以上に風雨の影



設計者のジャック・ニクラウスに見守られてパット練習する選手たち



(写真左上) 男子3位の小林令侑。(左下) 女子2位タイの高野遥。(右下) 同じく女子2位タイの津止柑那の各選手



ジュニア選手は将来に向けての宝物

会場となった上総モナークカントリークラブは、5年前から関東小学生大会の男女上位各20人が参加する「ペコちゃんポコちゃんジュニアゴルフトーナメント」を開催している。

関東ゴルフ連盟(KGA)の主催競技を開催するのは、今回が初めてだが、KGAの岩田淳子ジュニア普及委員長は「ジュニア育成の聖地になろうとされている」と、ゴルフ場の協力姿勢に感謝する。

取締役支配人の鴛田(ときた)孝洋さん(写真)は「以前から、ゴルフ場はどのような社会貢献ができるかを考えていました。広い練習場がないので本格的な競技はできませんが、ジュニア育成には協力できると思い、「ペコちゃん」を続けています。アクアラインでつながっている川崎市のジュニアゴルファーにも、月に1、2回、コースを開放しています。ジュニア選手は、将来に向けての宝物ですから」と話す。前日、コースは猛烈な暴風雨に見舞われたが、試合当日は、素晴らしいコンディションで選手たちの懸命なプレーを支えた。短時間でコースを見事に整備した努力にも、頭が下がった。



寒風下も選手たちはみんな笑顔でラウンド

響を受け、難コースに苦戦をした。その中で、優勝した竹内選手は、前半のインは41と苦しんで11位で折り返したが、アウトを1アンダーでまとめ、逆転で頂点に立った。「ほかの選手は意識せず、自分のプレーだけに集中した。気持ちの切り替えができた」と話す。朝、起きると、廊下のバターマットでのパット練習からスタート。今、一番取り組んでいるのはアプローチだという。「球の高さや距離をそろえる。もっと寄せたり、入れたりしたい」。小柄でも世界を舞台に活躍する山下美夢有プロのようにするのが目標だ。

【小学生男子の部】

ランク	名前	所属	スコア
1	横山 勇人	富士見市立勝瀬小	73
	戸澤 涼	栃木市立合戦場小	73
3	小林 令侑	川越市立新宿小	74

【小学生女子の部】

ランク	名前	所属	スコア
1	竹内 美由	柏市立第七小	76
2	高野 遥	水戸市立稲荷第二小	77
	津止 柑那	品川区立立会小	77

回、ゴルフをまったくしたことがない人やしばらくクラブを握っていない人を中心、10人前後の女性に参加している。

まず、開催の趣旨などが説明された後、プロゴルファー数名の指導のもと、ゴルフに適したストレッチ運動から、スタート。前後屈、旋回、アキレス腱伸ばし、首や手首、足首の運動など、ラウンドの際のけがを予防し、スイングの動きを助けるものばかりだ。次は、基本中の基本であるグリップと正しいスイングの基礎を教わる。グリップは実際のクラブを使って左手と右手それぞれの形を指導され、スイングはタオルを利用して、体と手の動きを学ぶ。

さらに、技量の差と本人の希望によってグループ分けされ、一組は打球練習場でスイングのレッスンを受け、残った組はパターとアプローチの基本をスポンジボールなどを使って教わる。天気がいい場合は、外の練習グリーンやアプローチ練習場を使い、約10歩分離れた所にマークを置いて狙ったり、フックラインやスライスラインの違いを教えてもらったりと、実際のラウンドに近い技術を学ぶ。アプローチ練習も、15ヤードや20ヤードなど、距離に応じてスイングの大きさを変える方法を教わるが、プロがわかりやすく指導する



「楽しい」が体験できる Bloom Pink Tee Clubを開催



一般社団法人関東ゴルフ連盟（KGA）ゴルフ振興委員会の「女性とゴルフ部会」が主催するBloom Pink Tee Clubが、順調に回を重ねて開催されている。ゴルフ未経験・初心者、初級者を主な対象に、レッスンなどを通じてゴルフの楽しさを伝え、女性ゴルファーを増やし、仲間作りも手助けしようという狙いだ。何度に参加する人が多く、毎回、笑顔がふれる催しとなっている。

Bloom Pink Tee Clubを始めた理由について、川崎陽子ゴルフ振興委員長は「とにかく『楽しい』を体感してもらいたくて」と話す。「これまで、日本ゴルフ協会（JGA）の指導で、女性のゴルフ振興を目的として世界各地で開催されている『Women's Golf Day（WGD）』と、JGA独自の女性ゴルファー応援プロジェクト『Women's Golf Now（WGN）』への参加を各ゴルフ場などにお願ひしてききましたが、何をすればいいかわからないという声が多く寄せられていました。それなら、自分たちが何ができるかやってみて、それをゴルフ場にフィードバックできないか、と考えました」と、川崎委員長は言う。

昨年11月、埼玉・日高カントリークラブで初めて開催され、今年3月に東京・青梅ゴルフ倶楽部、5月には東京・赤羽ゴルフ倶楽部でも実施された。毎

特集2 Bloom Pink Tee Club



川崎委員長は、「ゴルフには、友達と遊べる、景色がいい、クラブハウスの食事がおいしいなど、魅力がたくさんあります。女性には、結婚、子育て、体の変化、親の介護など、いろいろな岐路があります。その中で、ゴルフはいつでも始められ、いつでも楽しめるスポーツで、アンチエイジングにも役に立ちます。さらに、エチケットやマナーなどが規則書に明文化され、相手を思いやる社会性がある点も他のスポーツにない魅力で、日本人の特性にも合っています。こうした数多くの魅力を、多くの女性に知ってもらいたいと願っています」と話す。

Bloom Pink Tee Club は、年に4回程度、開催される予定。募集は、KGA が運営するホームページやインスタグラムなどのSNSで行われ、参加料は1000円となっている。

川崎委員長は、「まずは初心者やしばらくゴルフから離れていた初級者を対象にして、ゴルフに気軽に触れる機会を提供しようと考えています。定期的に開催することで、友達が増えたり、女性の間にゴルフが定着するきっかけになったりしてくれたら最高です。女性ゴルファーが気になる美容系の勉強なども、カリキュラムに入れていきたいですね」と、女性ゴルファーの輪が花開く(Bloom)未来を描いている。



ので参加者がみるみる上達するのがわかった。最後は、多くの人が楽しみにしていたラウンド体験。各組にプロとゴルフ振興委員が付き、技量に応じて1ホールから数ホールを実際に回る。この頃には参加者たちはすっかり打ち解け、だれかがナイスショットをすると、歓声と笑顔が出てくるようになった。

ラウンド後、懇親会が行われるが、これもゴルフにまつわるゲームやクイズを対抗戦形式で競い合うもので、ミスしてもうまくいっても、ワーワーとにぎやかで、さらに仲間意識、一体感が生まれていった。

伊藤珠江さんは、娘の小竹夏香さんを連れて、青梅、赤羽両会場とも参加。伊藤さんは競技に出場するほどの腕前だが、「釣りばかりしていた娘が、ようやくゴルフに目を向けてくれるようになった。ゴルフは生涯スポーツ。健康維持などいろいろな意味でも、ゴルフは役に立つ。この催しの事を聞き、娘にゴルフの基礎技術と面白さを知ってもらいたい機会になると思った。参加の動機を話す。小竹さんは「楽しかった。打ち放し練習場とシミュレーションゴルフには行ったことがあるけど、実際のコースは全然、違いますね」と、ゴルフ場の持つ開放感に触れて、感動した様子だった。片野里美さんは、「10年ほど前、打ち放し練習場に行ったことがあるけど、すぐマメがでたりして、やめてしまった。でも、今日はメチャクチャ楽しかった。数時間で、すごく成長できた感じがした。他の人とLINEの交換をしたり、いろいろな人と交流できたりしたことも良かった」と、明るい表情だった。



撮影／池田正一 参与
取材・文／高岡和弘委員



ティーイングエリアでのルールも教わった



パットの練習



最初にマナーなどゴルフの基礎を学んだ



真剣な表情でプロコーチの話を聞くジュニアたち



いよいよラウンド練習。みんな上手に球をとらえていた



指導の先生と記念撮影。みんな楽しそう



次回以降の募集は、KGAホームページや公式SNSで告知いたします。

ショットに慣れている班は3ホール、初心者の班は1ホールをプレーしたが、なかなかうまくボールに当てられなくても、緑の芝を踏み、青空の下でのプレーに、子供たちは楽しさと開放感にあふれた表情を見せた。クラブハウスに戻り、閉会式が行われたが、加茂プロは、「たくさん失敗させ、考えさせることが子供の成長につながる。親は、つい教えたくなってしまふけれども、それでは大人になってからも自分で考えない人間になってしまふ」と、保護者に向けてアドバイスをおくった。親にとっても有意義なスクールになっただろう。

横山プロは「みんな上手だったよ」とエールを送った。岩田委員長は、「今後、2回目、3回目のスクール開催を計画しています。ゆくゆくはKGA管内の11都県ごとに同様のスクールを実施してもらいたいと考えています。各都県のプロ協会と連携するなど、ジュニアゴルフ界全体で取り組む必要があります。子供たちが対象のスナッグゴルフのレッスンが各地で行われていますが、残念なことに、そこから本当のゴルフに来てくれる子供がほとんどいません。実際のコースで、緑の中で球を打つ楽しさを伝えたい。今回のスクールがその第1歩になればと願っています」と話している。

緑の中で球を打つ喜びを 子供たちに伝えたい

—— 第1回 KGA初心者ジュニア・ゴルフスクール開催

一般社団法人関東ゴルフ連盟（KGA）ジュニア普及委員会による、小中学生のゴルフ初心者、初級者を対象とした初めての「KGA初心者ジュニア・ゴルフスクール」が5月中旬、栃木・鹿沼72カントリークラブで開催された。ジュニア層は、将来のゴルフ界を支える大事な宝。ゴルフの楽しさを知ってもらい、未来のゴルフアートを育てることを目的とした事業だ。第1回のスクールは、天候にも恵まれ、子供たちの笑顔であふれた。

最後のシーンから紹介しよう。すべてのレッスンが終わり、桜井敦ジュニア普及委員会副委員長が「楽しかったかい？」と子供たちに声をかけると、ほぼ全員が「ハイ！」と手を挙げた。この明るい表情を生み出した初回のスクールは、大成功だった。

ジュニア普及委員会の岩田淳子委員長は「世界のゴルフ界をけん引するR&Aならびに全米ゴルフ協会からも『ジュニアゴルフアートの育成に努めて欲しい』と言われていきます。日本も、少子化が進み、ゴルフをする子供が減っているのが現状です。10年後、さらに50年後を見据えて、

今からジュニアを対象としたゴルフの普及を図らなければと、今回のスクールを計画しました」と話す。

スクールには、関東の各都県から、小学2年生～中学2年生の男女20人が参加した。自分のクラブを持っている子から、ほぼ初心者まで、経験や技量は様々だ。

まず、桜井副委員長による座学からスタート。KGAも協賛して作成された「ゴルフコースプレガイド」を使って、エチケットやマナーから実際のラウンド方法まで、ゴルフアートの知っておくべき様々な事を、しっかりと学んだ。

続いて、技量によって3班に分けられ、パターやアプローチ練習、ドライビングレンジでの打球練習に取り組んだ。練習では、栃木県プロゴルフ協会の加茂靖倫プロ、横山健士プロが丁寧に指導。グリーン上でのマークのやり方といった基本からゲーム性を取り入れたパッティングやアプローチの練習まで、子供たちが楽しく学べる工夫が盛り込まれたレッスンだった。

最後に、実際のコースに出で、ラウンドを体験。ある程度、

斑尾高原カントリー倶楽部

Madarao Kogen Country Club

戸隠、飯綱、黒姫、妙高、そして斑尾と
北信五岳を望む360°の大自然〒389-2101 長野県中野市大字豊津8156
TEL: 0269-38-3766 FAX: 0269-38-3715
理事長: 勝山 直樹 支配人: 小野澤 澄人
開 場: 1986年7月25日
コース設計 ● 三浦 一美
コース規模 ● 18Holes Par72

コースからは戸隠、飯綱、黒姫、妙高、斑尾の北信五岳の眺望を望める



大きな窓からパノラマビューを楽しめるレストラン

郷土出身の高野辰之が
作詞した唱歌「ふるさと」
に描かれた風景は当地の
ことで、素朴ながら四季
折々の自然が美しく、訪れ
るたびに新しい表情を見
ることが出来ます。近く



名物ホールのひとつ7番ホールは池越えのパー3



豪快な打ち下ろしホールの11番パー5

上信越自動車道豊田・飯山IC
より約3分とアクセス良好な
場所にあり、斑尾山の麓に広が
る比較的フラットな丘陵コース
です。
長野県の最北に位置し、周辺
にはスノーモンキーで有名な湯
田中・洪温泉郷や、インパウンド
に人気の野沢温泉スキー場、葛
飾北斎が晩年過ごした栗の町小
布施など、観光地が多数ござい
ます。

に高野辰之記念館がございます
のでオススメいたします。
コースからは雄大な山々を一
望することができ、特に秋の紅
葉は思わずクラブを握る手が止
まるほどの絶景が広がります。
戦略性の高いレイアウトと、
広々としたフェアウェイはビギ
ナーから上級者まで楽しめる設
計で、特にシニアの皆様からご
好評をいただいております。
近年は地球温暖化でコース管
理の方法も多様化し、試行錯誤
しながら現状に合った管理を模

索しているところがあります。
グリーンはベント1グリーン
で、只今暑さに強い新品種に切
り替え中です。2年前の夏にグ
リーンの根腐れを経験し、現在
はほぼ復活しましたがその失敗
を教訓に今後も精進してまいり
ます。
この度、関東ゴルフ連盟に加
盟させていただき、今後さら
なるサービスと整備されたコー
スをお客様に提供できるよう努
めてまいりますので、よろしくお
願い申し上げます。



13番グリーン越しにクラブハウスを望む



フェアウェイ左サイドの3段の池が印象的な14番ホール



プレッシャーのかかる池越えの17番パー3

オリンピック・スタッフ足利ゴルフコース

Olympic Staff Ashikaga Golf Course

細部に至るまでグローバルスタンダードを追求した
全長7,000ヤード超の18ホール〒326-0004 栃木県足利市樺澤町1873番地
TEL: 0284-42-4600 FAX: 0284-42-4009
理事長: 戸澤 茂 支配人: 土肥 智
開 場: 2001年11月1日
コース設計 ● ジャック・ニコラス、ジャック・ニコラスJr.
コース規模 ● 18Holes Par72

オリンピック・スタッフ足利ゴ
ルフコースは、ジャック・ニクラ
スと子息ジャッキー（ジャック・
ニコラスJr.）が手掛けた本格的
なチャンピオンコースです。ク
ラブハウスから大半のホールを
見渡せる「スタジアム型」を採用
し、あらゆるタイプのゴルファー
が戦略性と攻略の喜びを味わえ
る独創的なレイアウトとなっ
ています。
細部に至るまでグローバル
スタンダードを追求し、全長

7000ヤードを超える18ホー
ルは、起伏に富んだフェアウェ
イに池やバンカーが巧みに配置
され、スリリングな展開が続
きます。名物の17番・池越えパー
3、難所として知られる18番
パー4など、印象的なホールも
魅力のひとつです。
クラブハウスでは温かみのあ
るサービスと落ち着いた、地
域に根ざした運営を大
切にしながらゴルフの

魅力を発
信し続け
ています。
また、足
利ICか
ら5分以
内とアク
セスも良
好です。



エントランス側のクラブハウス外観



爽やかな朝日に輝くグリーン

長野デューンズゴルフクラブ

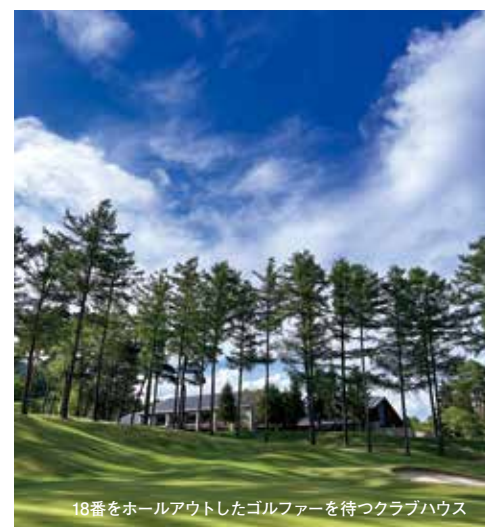
Nagano Dunes Golf Club

標高1,000mの高原に広がる
タフなチャンピオンシップコース

〒381-0075 長野県長野市北郷2016番地327
TEL: 026-239-1025 FAX: 026-239-1027
理事長: ケン・チャン・チェン・ウェイ 支配人: 西 満
開 場: 1998年7月29日(2024年9月名称変更)
コース設計 ● 浅見 緑蔵
コース規模 ● 18Holes Par72



各ホールは白樺や唐松の林帯でセパレート



18番をホールアウトしたゴルファーを待つクラブハウス



標高1000mの高原コースは、夏も快適なゴルフシーズン

長野市北部、飯縄山の麓、標高1000メートルの高原に広がる長野デューンズゴルフクラブは、総距離7045ヤードを誇る18ホールのコースです。白樺や唐松の林帯で各ホールがセパレートされ、樹々の間から差し込む光が生み出す陰影は、コース名の由来である「Dunes(砂丘)」を想起させます。地形の変化を巧みに活かしたレイアウトは戦略性に富み、プレーヤーの挑戦意欲を引き出します。なかでも飯縄山を望むホールはクラブを象徴する印象的なロケーションです。多くのプレーヤーの記憶に残ります。A・Bふたつのベントグリーンを備え、同じホールでも異なる表情を見せる点も特長です。コースレイティング72・9のタフなチャンピオンシップコースとして、競技志向のプレーヤーの挑戦意欲をさらに刺激します。

長野駅から車で約30分とアクセスも良く、都市部からの利便性と高原ならではの清涼な環境を兼ね備えています。2024年9月に現名称へ変更し新たなスタートを切った当クラブは、関東ゴルフ連盟への加盟を機に、より一層信頼

されるゴルフ場として、ホスピタリティとコースコンディションの維持・向上に努めておりますとともに、さらなる価値向上を目指してまいります。



クラブハウス車寄せ

宿泊は、ロッジタイプの「那須陽光ロッジ」と、29のゲストルームを設けたリゾートホテル「那須陽光ホテル」を併設しています。ロッジは、落ち着きのある機能的でシンブルなゲストルームで、小グループや学生合宿などに大変好評



併設の「那須陽光ホテル」客室から見た9番ホール



クラブハウスの手前左側に南コース、右側に東コースが展開

那須陽光ゴルフクラブ

Nasu Sunlight Golf Club

ゴルフ本来の楽しさが
存分に味わえる27ホール

〒329-3441 栃木県那須郡那須町大字寄居字太田2525
TEL: 0287-74-0123 FAX: 0287-74-0166
理事長: 田代 憲司 支配人: 兼田 実保子
開 場: 1993年7月2日
コース規模 ● 27Holes
(EAST Par36・SOUTH Par36・NORTH Par36)

な那須連山を背景に、穏やかな気候に恵まれた那須は四季を通じてプレーが楽しめます。リゾート感覚にあふれたコースは初心者にもゴルフの面白さを味わわせてくれる一方で距離がたつぷりあり、フェアウェイは変化に富み、要所に配されたグ래스バンカーや数多くの池、大きなベントのワンダグリーンが上級者の闘争心を引き立てます。また、コース内カート乗り入れも随時行っており、特にシニア層には大変喜んでいただいております。

です。ゴルフ場の敷地内にありますので、早朝プレーの方もゆっくりお休みいただけます。この度、関東ゴルフ連盟に加盟をさせていただきました。更なる向上を目指し、ご来場されたお客様に最高評価をいただけるよう、スタッフ一丸となつて精進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



那須連山のパノラマを眺望



「JGA ゴルフルールチャンネル」

一般ゴルファーが処置に迷うことが多いルール上の問題に、
規則委員会が分かりやすく回答。



Q1：1番ホールでティー
ショットを打ったと
ころ、球がラフ（ジェネラル
エリア）とバンカーの境目に止まりました。

確認すると、球の右側半分がバンカーの砂に触
れていて、左側半分はラフの芝生に触れていま
した。

私の球は、バンカー内にあるのかラフ（ジェネ
ラルエリア）にあるのか判断できません。どう
判断したら良いですか？

Q2：また、2番ホールでセカンドショット
がグリーン横のレッドペナルティーエリ
アの方へ飛んでいき、球はペナルティーエリアを定
める線に球の一部が触れて止まっており、残りの部
分はバンカー内の砂に触れて止まっていた。
幸いストロークできるところなので、そのままソー
ルしてストロークしホールアウトしました。
この場合、ペナルティーエリア、バンカーどちらの
コースエリアにある球として扱えば良いですか？



A1：この場合、球はバン
カー内にあるものとし
て扱います。

球は常に1つのコースエリアに
だけあるものとして扱います。

球の一部がジェネラルエリアと4つの**特定のコース
エリア**の両方にある場合、特定のコースエリアにあ
るものとして扱います。

キーワード：「コースエリア」「4つの特定のコースエリア」「バンカー」「球がバンカー内にある」「球がペナルティーエリアにある場合」

図2.2：定義されたコースエリア



規則説明会（無料）を希望される場合は、事務局：畑（はた）までお問合せください。

太平洋クラブ美野里コース

Taiheiyo Club Minori Course

〒319-0104 茨城県小美玉市三箇952

TEL: 0299-49-1177

FAX: 0299-49-1270

理事長：福永 敬三

支配人：天宮 利史

開 場：2002年4月2日

コース設計・倉上 俊治

コース規模・18Holes Par72



18番グリーンの奥にクラブハウスを望む

太平洋クラブ江南コース

Taiheiyo Club Konan Course

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 985

TEL: 048-583-6661

FAX: 048-583-6697

理事長：福永 敬三

支配人：森崎 幸司

開 場：2002年4月6日

コース設計・加藤 俊輔

コース規模・18Holes Par72



池を挟んで左に18番グリーン、右に9番グリーン



関東倶楽部対抗 決勝競技 新千葉カントリー倶楽部

新千葉が土壇場の逆転で2年ぶり6度目の優勝

2026年 関東倶楽部対抗



Aクラス最優秀選手 水上晃男選手



波多野隆一選手



深山克己選手



金岡治久選手



Bクラス最優秀選手 竹内規晃選手



新井淳選手



川岸晃平選手



川島宗太選手

関 東倶楽部対抗決勝競技は6月9日、雨模様の中、千葉県市原市の鶴舞カントリー倶楽部（Aクラス＝西コース・6515ヤード、Bクラス＝東コース・6795ヤード、いずれもパー72）で開催され、新千葉カントリー倶楽部（千葉県）が3打差内に7チームがひしめく大混戦を制し、計298打で6度目の優勝を果たした。

1打差の2位に東京国際ゴルフ倶楽部（東京都）、さらに1打差の3位に連覇を狙った鷹之台カントリー倶楽部（千葉県）、同スコアながらBクラス不採用スコアの差により茨城ゴルフ倶楽部（茨城県）が4位となった。開催コースの鶴舞カントリー倶楽部（千葉県）は、昨年優勝の鷹之台、各地区予選を勝ち抜いた計42チームが参加した決勝競技は、各チーム、A（55歳以上）、B（年齢制限なし）両クラスでそれぞれ3人の計6人が出場。両クラスの上位2人、計4人の合計スコアで順位を決めた。

新千葉は、Aクラスの深山克己選手が72、Bクラスの川島宗太選手が74の活躍。Bクラス最終組の新井淳選手が最終ホールで6メートルのバーディーを決めて76でホールアウトし、東京国際を土壇場で逆転する劇的な勝利だった。開催倶楽部の鶴舞は、計304打で10位だった。

最優秀選手賞は、Aクラスで70の水上晃男選手（鷹之台）、Bクラスで71の竹内規晃選手（東京国際）がそれぞれ獲得した。倶楽部対抗競技に出場して50年目を迎えた74歳の宮辰夫選手（習志野）が74で回り、エージシュートを達成した。



関東女子倶楽部対抗 決勝競技 南長野ゴルフ倶楽部

岸田姉妹がチームを引っ張った
南長野が長野県勢として初戴冠

関東女子倶楽部対抗決勝競技



最優秀選手賞獲得の真衣奈選手（左）と妃奈乃選手の岸田姉妹



岸田妃奈乃選手



岸田真衣奈選手



矢島美紀選手



野村喜代美選手

名匠・井上誠一氏が設計し、昨年の日本オープン選手権など数々の競技会が開催されてきたコースを舞台に、競技は白熱。日光連山の絶景を仰ぎ見ながらフェアウェイの微妙なアンジュレーションや難グリーンを相手に各選手が奮闘する中で、南長野ゴルフ倶楽部は最優秀選手賞を獲得した岸田姉妹の姉・真衣奈選手（23歳）が6バーディー、ノーボギーの68ストローク、妹・妃奈乃選手（21歳）が7バーディー、2ボギーの69ストロークと好スコアをマークし、チームを引っ張った。

関 東女子倶楽部対抗決勝競技は6月19日、栃木県の日光カントリー倶楽部（5877ヤード、パー74）で開催され、南長野ゴルフ倶楽部（長野県）が計229ストローク（7オーバー）で初優勝を飾った。長野県勢の優勝は初。

競技にはシード倶楽部のほか、各地区の予選を勝ち抜いた合計31倶楽部の計124選手が参加し、各チーム4人（うち2人は50歳以上の上位3人の合計スコアで順位を決定する方式。2位の紫雲ゴルフ倶楽部（新潟県）は、235ストロークで並んだ境川カントリー倶楽部（山梨県）を4人目のスコアで上回った。昨年に群馬県勢として初優勝した鳳凰ゴルフ倶楽部は13位だった。

競技にはシード倶楽部のほか、各地区の予選を勝ち抜いた合計31倶楽部の計124選手が参加し、各チーム4人（うち2人は50歳以上の上位3人の合計スコアで順位を決定する方式。2位の紫雲ゴルフ倶楽部（新潟県）は、235ストロークで並んだ境川カントリー倶楽部（山梨県）を4人目のスコアで上回った。昨年に群馬県勢として初優勝した鳳凰ゴルフ倶楽部は13位だった。

6月9日に鶴舞カントリー倶楽部で開催された関東倶楽部対抗と、同19日に日光カントリー倶楽部で開催された関東女子倶楽部対抗の結果報告。予選・決勝の詳細は9月末発行予定の秋号「倶楽部対抗特集号」に掲載します。

INFORMATION

JGA WAG 1Dayプログラム開催報告

日本ゴルフ協会（JGA）は2025年から5月を『ゴルフ月間』と定め、ゴルフ振興に向けた活動を推奨・展開しています。これに応じてKGA管内でも加盟10倶楽部において、健康維持・増進に寄与するゴルフを「始める・復帰する・継続する」ための1日体験プログラム『JGA WAG 1Dayプログラム』が開催されました。

合計100名ほどの参加者が集まり、ゴルフを通じて健康的に体を動かす楽しさを体感しました。

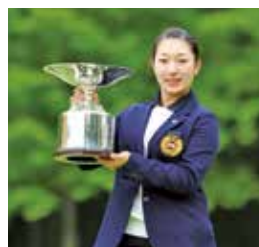
9月の『ゴルフ健康週間』でも同プログラムが各加盟倶楽部で実施されます。詳しくはJGAの「ゴルフ応援サイト」内にあります「ゴルフと健康」のページをご覧ください。

JGA WAG 1Dayプログラム開催倶楽部			
倶楽部名	都 県	開催日	
グリーンパークカントリークラブ	群馬県	5月22日	
宇都宮カンツリークラブ	栃木県	5月12日	
塩原カントリークラブ	栃木県	5月25日	
東松苑ゴルフ倶楽部	栃木県	5月25日	
栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部	栃木県	5月21日	
ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン	栃木県	5月15日	
日高カントリークラブ	埼玉県	5月27日	
嵐山カントリークラブ	埼玉県	5月12日	
姉ヶ崎カントリー倶楽部	千葉県	5月18日	
一の宮カントリークラブ	千葉県	5月23日	



日本女子アマチュアゴルフ選手権 TEAM KGA ジュニア出身の長澤愛羅が 逆転で初戴冠!

アマチュアの「女子ゴルフファーマー」の座を争う「第67回日本女子アマチュアゴルフ選手権」は6月16日～19日、北海道苫小牧市の北海道ブルックスカントリークラブで開催され、TEAM KGA ジュニア（TKJ）出身で、2021年関東ジュニアチャンピオン（12～14歳の部）の長澤愛羅選手が最終日に4日間を通じてのベストスコアとなる66（6アンダーパー）をマークし、逆転で初の同タイトルに輝きました。



写真提供:日本ゴルフ協会

TKJ出身選手の優勝は昨年の中澤瑠来（現プロ）に続く2年連続です。長澤選手の今後の活躍を楽しみにしたいと思います。

ご寄附の報告

この度、KGAジュニア普及委員会の活動に賛同された以下の皆様よりご寄附をいただきました。

「東京JCじゃがいもクラブ」様（2025年12月24日）

「オルト株式会社」様（2026年1月6日）

未来を担う子どもたちの育成と、ゴルフの普及に向けた温かいお志に、心より感謝申し上げます。

頂戴しました寄附金は、ジュニア普及活動のために大切かつ有効に活用させていただきます。



（写真左）「東京JCじゃがいもクラブ」様、（写真右）「オルト株式会社」様より、それぞれKGA笠川喜久男副理事長へご寄附の目録の贈呈。

千年桜とエージシユートの鉄人

今年4月、桜前線が北上する頃、福島県三春町にある天然記念物の「三春滝桜」を観る機会がありました。推定樹齢1000年を超える枝垂れ桜は、枝枝の先まで見事に花をつけています。毎年、暑さ寒さを経て、開花の準備を整えて花を咲かせるその姿に、こんな句が浮かびました。

「凛として
千年の舞
滝桜」

青空と葉の花に映える滝桜を見ているうちに、思い出したのが、「エージシユートの鉄人」からお聞きした話です。今年3月に91歳になった田中菊雄さんがその人。よみうりゴルフ倶楽部や東京よみうりカントリークラブのメンバーとしてゴルフライフを楽しむ田中さんは、ゴルフアーなら一度は咲かせてみたいエージシユートという花を71歳から20年以上にわたり咲かせ続け、その数は5月12日時点で1800回となりました。田中さんに語っていただいたゴルフと健康、エージシユートへの思いを紹介します。

から上京して、運送業をしていた35歳のときにゴルフと出会いました。こんなに面白くて素晴らしいものはないと思いましたが、続けていくためには、仕事も一生懸命やって、ゴルフを通じてさまざまな人たちとつながりもできました。



写真提供:日本ゴルフ協会

する。目標があればその前提条件をさらにその一つ前に必要なのは何かと考えています。ゴルフは一人ではできないので、仲間も大切です。威張ったことはできない。いつも、ありがとうという気持ちを持って、同伴競技者にもキャディーさんにも嫌われないゴルフをやっているつもりです。エージシユートは若い人にはできない。年寄りだからできる。こんな素晴らしいものはないと思います。健康であるためには目標が必要です。エージシユートを目標にすれば、皆が健康になっていくと思うのです」

そんな思いから、田中さんはゴルフ仲間や知人と一緒に2018年に「一般社団法人日本エージシユートチャレンジ協会」を設立し、さまざまな活動を通じて、エージシユートの素晴らしさを全国に発信しています。

（写真・文／古谷隆昭参与）

編集 後記

「KGA GOLFER'S NEWS」をいつもお読みくださりありがとうございます。

今号では春に行われた第10回定時社員総会「次なる100年へ、新たな礎を築く」のご報告、主催競技の詳細、ゴルフ振興に向けた「Bloom Pink Tee Club」、第1回の初心者ジュニア・ゴルフスクール等を取り上げさせていただきました。

広報委員会より加盟倶楽部の皆様にお礼があります。倶楽部によって本誌「KGA GOLFER'S NEWS」を置く場所は様々ですが、是非、会員の皆様が手に取りやすいところへの配置をお願いします。

今年も酷暑が予想されております。ご自愛の上、プレーをお楽しみください。

（広報委員長 近藤勇樹）



KGAGOLFER'S NEWS

2026年7月31日発行

KGAGOLFER'S NEWS No.149

発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟

〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号

銀座SCビル4階

TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ホームページ <https://www.kga.gr.jp>

発行人／吉田裕明 編集／広報委員会



上総モナークカントリークラブ

〒292-0515

千葉県君津市柳城856-2

TEL : 0439-29-3100



鹿沼72カントリークラブ

〒322-0526

栃木県鹿沼市楡木町1475

TEL : 0289-75-2111